

まだまだあるよ こんな本

- 『ストップ! SNSトラブル1~3』
小寺信良/著 メディア・ビュー/編 汐文社 00
- 『ホタルイカは青く光る』
阿部秀樹/写真と文 小学館 484
- 『方言ずかん』
篠崎晃一/監修
山田タクヒロ/絵 本作り空 Sola/編 ほるぷ出版 81
- 『天の台所』
落合由佳/著 講談社 913才
- 『カティとつくりかけの家』
福井さとこ/作・絵 ポプラ社 913フ
- 『カイトとルソンの海』
土屋千鶴/作 小学館 913ツ

いろはにほん



『ぼくらのスクープ』
赤羽じゅんこ/著 講談社 913ア

がっきゅうしんぶんをつく 学級新聞を作ることにしたイダッチ。相棒は変わり者の「魔王」。しんじつ 眞実をスクープしたいとアツくなるイダッチに、まおうは「もののみかた ひと 見方は人によってちがうから、眞実も人によってちがう」とクールに言うのです…新聞は無事に発行できるのでしょうか？

「探している本がある」「こんな本が読みたい」など、いつでも図書館の人に声をかけてください。お待ちしております。

中央図書館 Tel: 042-475-4646 滝山図書館 Tel: 042-471-7216
東部図書館 Tel: 042-470-8022 ひばりが丘図書館 Tel: 042-463-3996



東久留米市立図書館

オススメのノンフィクション



『博物館のバックヤードを探検しよう!』
DK社/編 小林玲子/訳 河出書房新社 06

きょうりゅう 恐竜の骨、ミイラ、海底都市の遺物、絶滅した動植物…博物館の資料の発掘から調査、保存、修復、展示まで。世界の有名博物館の驚きの裏側をのぞいてみよう。



『すてきなタータンチェック』
奥田実紀/文 穂積和夫/絵 福音館書店 75

かわいくて、みんなが見たことのあるチェック柄「タータンチェック」。その柄ひとつひとつに歴史があり、意味があったのです。タータンチェックの秘密に迫ります。



『神社のえほん』
羽尻利門/作 あすなる書房 17

神社って、学校へ行く途中にあたり、お正月や七五三の時行ったかも。神社って、なんのためにあるの？神社にあるものの意味がわかり、日本の伝統文化を知ることができる絵本です。



『気候変動 何がおこる？何ができる？』
アンドレア・ミノリオ/文 関口英子/訳
ラウラ・ファネッリ/絵 大月書店 51

ちきゅうおんだんか 地球温暖化がこのまま進むと世界はどうなるのでしょうか。今、地球がかかえている問題、そして私たちが未来を変えるためにできることを教えてください。



『めねぎのうえんのガ・ガ・ガーン!』
多屋光孫/文・絵 合同出版 36

めねぎをつくる農園の鈴木さんは、障害のある人を働かせてほしいと頼まれます。初めは悩んだ鈴木さんですが、やがて仕事を人に合わせればいいのだと気づきます。実話をもとにした本。



『チバニアン誕生』
岡田誠/著 ポプラ社 45

チバニアンとは「千葉時代」という意味。2020年、日本の地名が初めて地球の歴史年表にのこされました…でもそれって、どういうこと？発見した地質学者の岡田さんが、そのスゴい研究を語ります。

まずは、ここから！3・4年生にオススメ



『ぼくらは少年鑑定団！大発見！謎の縄文土器』

くすのきしげのり／作 酒井以／絵

講談社 913ク

工事現場に埋まっていたのは本物の縄文土器なのか？「少年鑑定団」が動き出す！彼らのかつやくを読み進めていくうちに、自由研究のやり方もわかってしまうかも。



『おれは女の子だ』

本田久作／作 市居みか／絵

ポプラ社 913ホ

おれは絵が得意。いちばん好きな色はピンク。それをからかわれてカッとして、思わず「おれは女の子だ」と言ってしまった。それからクラスの人々と、いろいろぶつかり合うことになるんだけど…。



『正吉とヤギ』

塩野米松／文 矢吹申彦／絵

福音館書店 913シ

ある南の小さな島に住む正吉は子ヤギをもらい、大よろこびで大切に育てます。そのころ日本はセンソウをしていましたが、正吉はヤギに夢中で、幸せでした。そんなある日のこと…。



『おてんばヨリーとひげおじさん』

アニー・M.G.シュミット／作 西村由美／訳

フィーブ・ヴェステンドルフ／絵 岩波書店 94シ

新しい特急列車の発車直前、小さな女の子ヨリーは車掌のひげおじさんに列車の下にハリネズミがいると伝えます。やがてふたりはとんでもない事件に巻き込まれ…。



『先生、感想文、書けません！』

山本悦子／作 佐藤真紀子／絵

童心社 913ヤ

夏休みの宿題に読書感想文ができました。でも、3年生のみずかとあかねは、感想文を書くのが苦手。そこで2人は読みたくる本を自分たちで作ろうとしますが…



『ゴリラとわたし』

フリーダ・ニルソン／作 よこのなな／訳

ながしまひろみ／絵 岩波書店 94ニ

ヨモギギク園で育った9歳のヨナは、ゴリラのゴリラに引き取られることに。逃げだすことばかり考えていたけれど、ゴリラのやさしさに気づきます。心が熱くなるおはなしです。

よみごたえアリ！5・6年生にオススメ



『月にトンジン』

佐藤まどか／作 佐藤真紀子／絵

あかね書房 913サ

仲良し4人組ダイキ・シュン・マチ・トール。ダイキが引っ越して、トールはほかのみんなの友情の変化にとまどいます。でもじいちゃんのことばをヒントに、元気を取りもどして…



『荒野にヒバリをさがして』

アンソニー・マゴワーン／作 野口絵美／訳

徳間書店 93マ

ヒバリを見るために、犬を連れてハイキングにでかけた兄弟は、季節はずれの雪で道に迷ってしまう。荒れた天気の中の会話で、このふたりの事情と、きずなの強さがわかってくる。



『かすみ川の人魚』

長谷川まりる／作 吉田尚令／絵

講談社 913ハ

学校近くのかすみ川で、人魚を見つけたぼく。友達と裏山の池でこっそり餌い始めるが、事件が起きてしまう。こわくてかわいい人魚をめぐる、ぼくらのちょっと不思議なお話。



『彼の名はウォルター』

エミリー・ロッダ／著 さくまゆみこ／訳

あすなろ書房 93ロ

遠足のバスが故障し、古い館にひなんした4人の生徒とひとりの先生。そこで見つけた一冊の奇妙な本がすべてののはじまり。何が書かれていたのか？ソクソクする、謎ときファンタジー。



『シリアからきたバレリーナ』

キャサリン・ブルートン／作 尾崎愛子／訳

平澤朋子／絵 偕成社 93フ

難民としてイギリスに渡ったアーヤ。父とははぐれ、母は病気に。弟はまだ幼い。そんなアーヤを支え、救ったのは大好きなバレエでした。明日へのとびらを開く物語。



『おとなってこまっちゃう』

ハビエル・マルピカ／作 宇野和美／訳

山本美希／絵 偕成社 96マ

おじいちゃんが、ママと同じくらいの年の人と結婚することになった。それに大反対のママを、うまく説得しなくちゃ。だって私、結婚式に出てみたいんだもの！